

目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【大正区】(受託者等:一般財団法人大阪市コミュニティ協会)

区の考え方等	
1 地域課題・ニーズ等の状況について	区内の人口は年々減少しており、高齢化率も大阪市平均に比べて高い状況である。少子高齢化が進み人口流動が少なく、地域活動の担い手の減少と固定化の両面で課題を抱えている 海と川に囲まれ、地震発生時には津波の襲来も予測されることから、地域と行政が一体となって防災活動に取り組む体制を構築する必要がある 地域活動を支える中堅・若手の人材をはじめ、新たな地域活動の担い手を拡大する必要がある。 今後、団体が法人化をめざす場合には中間支援組織からのサポートが必要となる。
2 当事業によりめざす状態	各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれの特性を発揮し、主体的に校区等地域におけるさまざまな地域課題に取り組む。 【現在の状況】 ・達成状況:概ね3割程度達成 ・説明:運営状況について概ね3割の項が◎できているため
3 当事業の目標	
(1) 中長期の目標	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組み、その情報発信に努めるなど、地域が自律的に運営されている状態 地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域課題を解決しながら、地域が一体となって運営されていると感じている割合 60%以上 中間支援組織による支援が、地域にとって適切であると感じている割合 60%以上 【現在の状況】 (2)に記載 【現在の状況】 (2)に記載
(2) 平成30年度目標	
ア「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」	形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の15項目を達成し、ステージ2の各項目のうち5項目を達成 【現在の状況】 ・達成:0地域 未達成:10地域
イ 利用者アンケート調査	
(ア) 自律的な地域運営	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている割合 60%以上 【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4) 64.5%(①そう思う 24.7% + ②ややそう思う 39.8%)
(イ) 中間支援組織の活用	地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合 60%以上 【現在の状況】 まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1) 69.9%(①そう思う 30.1% + ②ややそう思う 39.8%)

	区の考え方等
4 地域活動協議会の状況についての分析 上記2・3の【現在の状況】及び評価資料等を踏まえ分析	ステージ1の項目については、現在委託事業として実施していることからパソコン等の備品が持てないことにより、全ての項目を達成できていない状況にある。平成31年度から補助金化を実施することにより、全項目達成に向けてまちづくりセンターの協力のもと実施して行く。ステージ2の各項目については概ね4項目は達成しており、達成率の向上と新たな担い手の拡充に向けて取り組みを進めている。
5 当事業による支援の方針	平成31年度より補助金化を実施することから、中間支援組織の役割がますます重要になることから、地域課題の解決に向け、引き続き支援を実施する方針である。
6 目標達成に向けた戦略	地域まちづくり実行委員会が、平成31年度からの補助金化により、準行政的機能や創意形成機能をより発揮することにより、より自律的な運営ができるよう、庁内組織である「地域包括支援プロジェクトチーム」とまちづくりセンターとの両輪による地域支援を行っていく。